

『建築現場のコンクリート技術』第1版第1刷の正誤情報

本書第1版第1刷に以下の誤りがございました。読者の皆様にお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。(学芸出版社編集部)

■133 頁下から2行目～134 頁上から1行目

誤：しかし、沈下ひび割れは、再振動で修復することはできても、鉄筋やセパレーターなどの固定された鋼材の下に空隙（図2）を残すこととなります。

正：さらに、沈下ひび割れを防止するには、再振動することによって、鉄筋やセパレーターなどの固定された鋼材の下の空隙（図2）を除去することが必要です。